

日本地域学会ニューズレター

令和 5 年 no.2

令和 5 年 8 月 25 日

目 次

I.	副会長挨拶	...	2
II.	日本地域学会第 60 回年次大会（令和 5 年 10 月 8 日（日），9 日（月）） 開催について	...	3
III.	令和 5 年度日本地域学会総会（令和 5 年 10 月 8 日（日））出席のお願い	...	4
IV.	理事会報告 令和 5 年度第 1 回—3 回	...	5
V.	委員会報告	...	7
	1. 学会賞選考委員会		
	2. 機関誌編集委員会（第 75-77 回についての報告）		
	第 60 回年次大会準備委員会からのお知らせ	...	10
	第 60 回年次大会の会場（名古屋大学）案内		
	交通アクセス		
	名古屋大学東山キャンパスマップ		
	セッション・総会・シンポジウム会場配置図	...	11
	『地域学研究』バックナンバー申込み	...	12

I. 副会長挨拶

日本地域学会

副会長 鐘ヶ江 秀彦

日頃より PRSCO の活動につきまして、多くの日本地域学会の会員諸賢のご参加をいただきまして誠にありがとうございます。

先日、2023 年 6 月 13 日から 14 日にかけて、アンコールワットで有名なシェムリアップ市のアンカー・パラダイス・ホテルにおいて第 18 回 PRSCO サマー・インスティテュート 2023 が開催されました。この夏季研究集会は、"Economic and Social Transformation Amidst the Multi-Pronged Global Crisis"を掲げており、30 発表と 97 名の参加者で大盛況の下で多くの日本地域学会の会員諸氏のご参加をいただいた上で、現 PRSCO 事務局長の鈴木聡士先生による閉会のご挨拶とカンボジア側の開催責任者の Kimlong Chhen 博士の閉会の辞を持って無事に閉会いたしました。本大会では RSAI が近年強く推し進めている Nurturing young Talent training Program (NTP：若手地域科学者育成講習事業)も併せて大会前の 6 月 12～13 日午前中にかけて開催されました。主に東南アジアから 17 名の参加者が集まりました。今回の NTP では、持続可能な開発目標 (SGDs) の達成に焦点を当てて、開発計画のための社会勘定マトリックス (SAM) 分析と応用一般均衡モデル (Computable General Equilibrium Modelling) に関する十分な知識を提供することを目指していました。今回の NTP ではまた、若手地域科学者同士あるいは経験を積んだ地域科学者たちとの交流やネットワーク形成の貴重な機会も提供しました。参加者は、開発計画に関する明確な分析手法を身につけるだけでなく、本 NTP を修了することで、地域科学における手法についてもより多くの知識を短期間で集中して体系立てて学習することができました。改めまして、第 18 回 PRSCO サマー・インスティテュート 2023 にご参加をいただきました多くの日本地域学会員諸賢に厚くお礼を申し上げます。

日本地域学会の英文名はご存知の通り、The Japan Section of the Regional Science Association

International です。英文が示しているとおり、日本地域学会は国際地域学会の日本のセクションということの意味しています。また、会員諸賢のお馴染みの PRSCO は The Pacific Regional Science Conference Organization の略号です。これは一体何なのでしょう？ PRSCO は、1968 年 2 月 1～4 日にかけてサンディエゴで開催された The Western Regional Science Association (WRSA)の第 7 回年次総会において、この WRSA と日本地域学会 (JSRSA) の代表者の主導によって設立されました。日本地域学会は、既に 40 年以上にわたる国際地域学会での活動を通じ、国際的に高い評価を受け、このように日本地域学会は、PRSCO の設立時からの主要メンバーとして環太平洋における地域科学の発展に指導的役割を果たしています。日本地域学会の諸先輩方の多大なる御貢献とご尽力に敬意と御礼を申し上げる次第です。その後、翌年の 1969 年 8 月 26 日～29 日にハワイ大学東西センターで PRSCO の第 1 回の大会が開催されました。その後、2 年ごとに大規模な太平洋国際大会の開催が続けられ、国際大会の合間の年に 1988 年以降、サマー・インスティテュートと呼ばれる小規模な夏季研究集会が環太平洋地域の様々な国において開催されてきました。なお、PRSCO サマー・インスティテュート (夏季研究集会) は、RSAI のセクションが立ち上がっていない国家や地域での開催を通じて、当該地域での研究者の交流やセクション立ち上げの助走のために重要な契機となることも期待されているため、確立されたメンバーセクションが主に開催母体となる隔年の PRSCO 世界大会で求められる RSAI の会員資格や実施条件等については、名前が示すように、より柔軟で小規模な開催が可能となっています。2023 年のカンボジアの開催では PRSCO への加盟のためのカンボジア単国あるいはメコンデルタ・サブリージョンでの 15 名の発起人ネットワークへ向けた準備の協議も、RSAI の会長と事務総長を交えて離陸へ向けて肯定的に始まりました。なお、過去の大会と夏季研究集会の開催場所の情報については PRSCO の Web サイトをご覧ください。

ご存知のように、RSAI 自体は、個別の国や州の地

域学会が直接に連合を形成するのではなく、それぞれ異なる歴史的経緯をもつ 4 地域連合学会の Supra-Regional Organizations (欧州の ERSa , 北米の NARSC , 太平洋の PRSCO, 中南米の LARSA) によってボトムアップ的に構成されていて、有効な会員数に応じて拠出金を RSAI に供出しています。この RSAI 自体の運営は、各 Superregional Association からの代表の 4 会長に加えて、それぞれで選出された 2 名ずつの計 12 名の理事が構成しています。またこれらとは別に会長と次期会長、そして事務総長を含む世界全体の会員から選出された 6 名、通常最大限 19 名以内の理事によって全ての意思決定が行なわれています。

ところで、今回の第 18 回 PRSCO サマー・インスティテュート 2023 では二つの PRSCO 賞の授賞式が執り行われました。この喜ばしい受賞について日本地域学会の皆様にご報告をいたします。

一つ目は、PRSCO Award for Best Paper by a Young Regional Scientist 賞は、アジア太平洋地域の若手研究者が、PRSCO のコミュニティ内で研究に参加し、卓越した研究を達成することを奨励することを目的としています。本年度の受賞者は Subham Pramanick 氏(インド・セクション)です。“Demand peculiarity in ferry service: pilgrims’ number Surpass the commuters – A multi method approach in Kolkata-Howrah twin city, Wb, India” と題した論文にて受賞しました。

もう一つが、HIGANO Award for Outstanding Service to PRSCO 賞です。本賞の由来は長年に渡って特にアジア太平洋地域および地域レベルを超えた国際的な地域科学の発展と組織化に長期にわたって顕著な貢献をされてきた氷鮑揚四郎先生の多大なる御貢献を記念して 2013 年に最初の受賞者として顕彰され、氷鮑先生のご本人の名前を冠した本賞の創設が PRSCO 理事会において承認されました。PRSCO の会員または友人(個人)を表彰するもので、毎年 2 名まで贈呈することができます。2013 年以降これまで 7 名の受賞者がいます。喜ばしいことに、本年の受賞者は、2008 年以来 PRSCO 理事を務め、

2011～2021 年まで PRSCO の要とも言える事務局長として、また PRSCO の創設と安定運営の核である JSRSAI 理事会からの PRSCO 代表として、15 年に及ぶ PRSCO の活動を積極的に主導し運営を通じて、PRSCO と RSAI の発展のために精力的に世界を飛び回り多くの会議に出席し続け活動してきました、併せて RSAI 理事会のメンバーも務め、2013 年時点でも RSAI2022-2023 の表彰委員として多大なご貢献をいただいている渋谷博幸先生(日本地域学会理事)が顕彰されました。PRSCO 理事会では、オンラインでご参加いただいた氷鮑揚四郎先生ご本人からのご祝辞もいただき、賞創設から 10 年目で日本地域学会から二人目かつ師弟の後継受賞という非常に喜ばしい顕彰となりました。渋谷博幸先生、本当におめでとうございました。

来年の PRSCO の世界大会は韓国の大邱にて開催されます。詳細は追ってまたご報告できる予定です。どうぞ奮って大韓民国での PRSCO 世界大会へのご参加をお待ち申し上げます。

II. 日本地域学会第 60 回年次大会

令和 5 年 10 月 8 日(日)～9 日(月)

記

開催日：2023 年 10 月 8 日(日)～9 日(月)

会場：名古屋大学

大会プログラム：(2023 年 8 月に公開予定)

発表論文集：(2023 年 9 月下旬に公開予定)

(大会実行委員会)

委員長 柳原光芳 (名古屋大学)

副委員長 加藤尚史 (名古屋大学)

委員 松本 睦 (名古屋大学)

委員 MENDEZ Carlos (名古屋大学)

委員 加藤秀弥 (龍谷大学)

委員 篠崎 剛 (東北学院大学)

委員 進藤優子 (山口県立大学)

(大会事務局)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院経済学研究科 柳原光芳研究室

E-mail: 2023jsrsai.nagoya@gmail.com

大会ウェブサイト:

<https://sites.google.com/view/jsrsaimeeting2023>

大会へのご参加について

＊上記の大会ウェブサイト内、「大会参加・総会出欠登録」に掲載されております「大会参加登録フォーム」よりお申し込み下さい。参加登録期間は、2023年8月31日(木)までです。まだご登録がお済みでない方は早急にお申し込み下さい。座長、発表者、討論者を含め全ての参加者に申し込みが必要です。

＊発表申込は終了しました。

参加費

- ・ 一般会員 5,000 円
- ・ 学生会員 3,000 円
- ・ 非会員 10,000 円
- ・ シンポジウムのみ 無料 (※事前登録が必要)

公開シンポジウム

テーマ:「観光立国基本計画と愛知県の観光

—大府市の音楽によるまちづくり—」

主催:名古屋大学/日本地域学会

日時:2023年10月8日(日)15:00-18:00

場所:名古屋大学 教養教育院棟3階・S30

Ⅲ. 令和5年度日本地域学会総会

日本地域学会会員各位

日本地域学会

会長 松本 昭夫

本年度総会を下記要領で開催致しますのでご出席

ください。出席・欠席のご登録は、日本地域学会ウェブサイトトップページ「令和5年度 日本地域学会総会出欠確認」または大会ウェブサイト内「日本地域学会総会出欠確認ページ」よりお願い致します。なお、欠席される場合には同フォームより、委任状をご提出下さい。

記

日時:令和5年10月8日(日)13:15-14:50

場所:名古屋大学 教養教育院棟3階・S30

総会次第

1) 開会の辞

2) 会長挨拶

3) 議題

(1) 新入会員・退会希望者の承認

(2) 令和4(2022)年度の事業報告の承認

(3) 令和4(2022)年度の収支決算の承認

(4) 令和6年度の事業計画の承認

(5) 令和5年度の収支予算(修正案)の承認

(6) 令和6年度の収支予算の承認

(7) 第61回(2024年)年次大会の開催地

開催校等の承認

(8) 第62回(2025年)年次大会の開催地

開催校等の取扱いの承認

(9) その他

4) 報告

(1) 新入会員キャンペーンの継続

(2) 『地域学研究(第53巻)』の編集

(3) RSAI の動向

(4) PRSCO の動向

(5) 学会賞受賞者報告

以上

IV. 理事会報告

令和 5 年度 日本地域学会 第 1 回 理事会
日 時: 令和 5 年 4 月 15 日(土) 13:00-15:55

場 所: オンライン(zoom)

出席者(敬称略): 浅見, 石橋, 岩見, 内田, 大内田, 鐘ヶ江, 木南(莉), 櫻井, 斎藤, 渋澤, 鈴木, 高橋, 多和田, 徳永, 中山, 野崎(謙), 氷鮑, 藤田, 正岡, 松本, 三友, 水野谷, 柳原の各理事, 廣野監事(ただし, 朝日, 國光, 福井, 高野, 戸田, 藤岡, 藪田, 吉田の各理事, 梶井監事より委任状付託; 以上理事 31 名出席); オブザーバとして, 池川, 小川, 篠崎, 野崎(乃), 黛の各幹事, 内村秘書

議題

松本会長より, 挨拶があった。

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より, 新入会員 10 名, 退会会員 28 名について説明があり, これを諒承。

この結果, 正会員 1, 025 名, 法人会員 5 団体となった。

2. 2022 年度決算(案)の審議と承認

櫻井財務担当常任理事より, 令和 4 年度(2022 年度)会計報告について説明があり, これを諒承。

3. 2023 年度予算(修正案)の審議と承認(資料 3)

櫻井財務担当常任理事より, 令和 5 年度(2023 年度)予算修正案について説明があり, これを諒承。

4. 2024 年度予算(案)の審議と承認

櫻井財務担当常任理事より, 令和 5 年度(2023 年度)予算案について説明があり, これを諒承。

5. 2022 年度事業報告(案)(資料 5)

水野谷総務担当常任理事より, 令和 4 年度(2022 年度)事業について報告(案)の説明があり, これを諒承

6. 2024 年度事業計画(案)

水野谷総務担当常任理事より, 令和 5 年度(2023 年度)事業計画(案)説明があり, これを諒承。

7. 第 60 回(2023 年)年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成(資料 7)

柳原理事より, 年次大会について 10 月 8 日と 10 月 9 日の実施である旨及び大会概要と準備状況の説明があり, これを諒承。

8. 第 61 回(2024 年)年次大会について

水野谷総務担当常任理事より, 2024 年度の年次大会を東北学院大学で開催して頂けることになった旨の説明があり, これを諒承。

大会を担当する篠崎理事より, 挨拶と大会概要の説明があった。

9. 『地域学研究』セット販売の推進

水野谷総務担当常任理事より説明があり, これを諒承。

10. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

水野谷総務担当常任理事より説明があり, これを諒承。

11. その他『地域学研究』の投稿規定の改訂について

- ・規程を改正する規程(案)(資料 10)
- ・執筆要綱を定める規程(資料 11)
- ・規程ページ数超過料金細則(資料 12)

多和田前機関紙編集委員長と内田事務局次長より規程改正について説明があり, これを諒承。

報告事項

1. 機関紙編集委員会報告

浅見機関誌編集委員長より第 53 巻の編集状況と掲載予定論文について説明があった。また, 査読関連の運用方法や規定の検討について説明があった。

2. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) について

氷鮑企画担当理事より, 各号の編集および発刊状況, 採択率, IF 取得の見込みについて説明があった。

3. 令和 5 年度第 1 回学会賞優秀発表賞選考委員会報告

水野谷学会賞選考委員会副委員長より, 第 59 回年次大会での報告を対象とした最優秀発表賞 15 号授賞者の決定について報告があった。

4. 第 1 回学会賞選考委員会報告

水野谷総務担当常任理事より説明があり, 功績賞 3 名, 論文賞 1 名の授与決定した旨の説明があった。ま

た、博士論文賞 2 件の応募について審査委員の選定を完了し、今後審査に入る旨の説明があった。

5. RSAI の動向

木南(莉)理事より、RSAI 関連のミーティングや関連するジャーナルへの取り組みに関しての説明があった。

6. PRSCO の動向

鐘ヶ江理事より、2022 年の京都での PRSCO オンライン大会について実施と会計関連の報告があった。

鈴木理事より、2023 年カンボジア大会について準備状況の説明があった。また、2024 年大会についての説明があった。

7. その他

水野谷総務担当常任理事より今後の理事会の開催方法について説明があり、意見交換がなされた。

令和 5 年度 第 2 回理事会（持回り）

日時：令和 5 年 5 月 15 日～18 日(木) 15:00

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認
2. 千葉商科大学主催 第 9 回全国高校生「環境スピーチコンテスト」後援名義使用の件
この後援名義使用について承認された。

令和 5 年度 日本地域学会 第 3 回 理事会

日時：令和 5 年 7 月 8 日(土) 12:30-15:00

場所：学術総合センター会議室 202・203 号室及びオンライン(zoom)

出席者（敬称略）：朝日、浅見、石橋、内田、大内田、鐘ヶ江、木南(莉)、國光、佐々木、篠崎、渋澤、鈴木、高野、多和田、徳永、野崎(謙)、氷鮑、藤田、正岡、松本、水野谷、柳原、藪田、吉田、Yabar の各理事、（ただし、櫻井、中山、福井の各理事より委任状付託；以上理事 28 名出席）；オブザーバとして、臼井、河野、高橋名誉理事、廣野監事、池川、岩見、小川、内藤、野崎(乃)、古澤、黛の各幹事、内村秘書（戸田、原、藤岡の各名誉理事、梶井監事より委任状付託）

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認
水野谷総務担当常任理事より、新入会員 12 名と退会会員 1 名について説明があり、これを諒承。この結果、正会員 1,047 名、法人会員 5 団体となった。
2. 第 60 回（2023 年）年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成
柳原理事（第 60 回（2023 年）年次大会実行委員会実行委員長）より、開催へ向けた準備の状況及びセッション会場、理事会の会場などの詳細について説明があり、これを諒承。
水野谷総務担当常任理事よりプログラム編成について説明があった後、各セッションの座長及び討論者割り当ての検討を行った。
3. 第 61 回（2024 年）年次大会準備の進捗状況
篠崎理事（第 61 回（2024 年）年次大会実行委員会実行委員長）より、東北学院大学での第 61 回（2024 年）年次大会の準備状況について説明があり、これを諒承。
4. 『地域学研究』セット販売の推進
水野谷総務担当常任理事より、『地域学研究』セット販売の推進について説明があり、これを諒承。
5. 新入会員勧誘キャンペーンの推進
水野谷総務担当常任理事より新入会員勧誘キャンペーンの推進について説明があり、これを諒承。
6. その他
PRSCO 評議会から RSAI 評議会への評議員（RSAI Councilor）の派遣について
鈴木庶務担当理事より「PRSCO は常に 3 名を RSAI 評議員として派遣している。そのうち 1 名は PRSCO 会長宛職である。現在 RSAI 評議員として 2 期目を務めている木南理事の枠が来年空席となるので、日本地域学会として、現在 PRSCO 会長宛職として RSAI 評議員を務めている鐘ヶ江理事を PRSCO から RSAI に派遣すべき RSAI 評議員として PRSCO 評議会に推薦したい」との説明と提案があった。意見交換の後、この提案を承認した。

報告事項

1. 令和4年度決算監査結果報告

廣野監事より、令和4年度決算監査の結果、会計は適正に処理されていることが確認された旨報告があった。

2. 機関紙編集委員会報告

浅見機関誌編集委員長より『地域学研究』第53巻掲載論文と印刷方針、及び投稿規程の改正について報告があった。また、長期間に渡って修正投稿がなされていない論文の取り扱いについて説明があった。

3. 第2回学会賞選考委員会報告

徳永学会賞選考委員会委員長より、今年度の博士論文賞、奨励賞、論文賞各賞の授賞者について報告があった。

4. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

氷鮑企画担当理事兼 APJRS Editor in Chief より、APJRS 各号の編集および発刊状況、採択率等について説明があった。また併せて、IF (IF 1.4) を初めて取得した旨の報告があった。

5. RSAI の動向

木南(莉)理事より、RSAI の動向についての報告があった。

6. PRSCO の動向

鐘ヶ江理事と鈴木庶務担当常任理事より、PRSCO2023 カンボジア大会についての報告があった。また、次年度以降の開催候補地についての報告がされた。

7. その他

特になし

次回の理事会は10月7日(土)に名古屋大学(ハイブリッド)で開催予定。

V. 委員会報告

1. 学会賞選考委員会

令和5年度第1回学会賞優秀発表賞選考委員会・第1回学会賞選考委員会

日時：令和5年4月15日(土) 10:30-11:00

場所：オンライン

出席者(敬称略)：徳永、水野谷、浅見、朝日、内田、鐘ヶ江、櫻井、渋澤、多和田、氷鮑、松本、三友の各委員(但し、藤岡、吉田委員より委任状付託：以上理事14名出席)：オブザーバーとして池川、岩見、小川、野崎(乃)、黛の各幹事、内村秘書

議題

1. 令和4年度第59回年次大会学会賞最優秀発表賞選考の件

選考委員による評価の一覧にもとづき審議した結果、Jonathan Darkwah Baffoe 氏 (University of Tsukuba) に最優秀発表賞を授与することが決定された。

2. 令和5年度第32回学会賞の選考方針

審議の結果、以下の通り各賞の授賞が決定された。

(詳細は第2回委員会報告に記載)

・功績賞：3件

・論文賞：1件

・奨励賞：(次回の学会賞選考委員会(7月)まで引き続き推薦を受け付け)

・著作賞：(次回の学会賞選考委員会(7月)まで引き続き推薦を受け付け)

・学位論文賞：

博士論文賞に2件の推薦があった旨報告があり、レフェリー各3名を決定した。

3. 令和5年度学会賞授与式について

第60回年次大会における総会(令和5年10月、名古屋大学)にて開催予定である旨報告があった。

4. その他

なし

令和5年度第2回学会賞選考委員会

日時：令和5年7月8日(土) 10:30-11:00

場所：学術総合センター会議室 202・203号室
及び オンライン(Zoom)

出席者(敬称略): 徳永, 水野谷, 浅見, 朝日, 内田, 櫻井, 渋澤, 氷鮑, 藤岡, 松本, 藪田, 吉田の各委員
(多和田委員より委任状付託: 以上理事 13 名出席):
オブザーバーとして池川, 岩見, 小川, 崔, 野崎(乃), 古澤, 黛の各幹事, 内村秘書

議題

1. 令和 5 年度第 32 回学会賞選考の件

審議の結果, 以下の通り各賞の授賞が決定された。

功績賞:

臼井功(横浜国立大学名誉教授)
高橋秀悦(東北学院大学名誉教授)
徳永澄憲(麗澤大学教授)

論文賞(大石泰彦賞):

黛陽子(文教大学准教授)

“Is meeting the needs of tourists through ethnic tourism sustainable? Focus on Bali, Indonesia” Asia-Pacific Journal of Regional Science, Vol. 6, Issue 1 (February 2022), pp. 423-451.

Md. Zia Uddin(筑波大学)

“An economic analysis of the proposed Dhaka-Chittagong Expressway in Bangladesh with the viewpoint of GHG emission reduction” Asia-Pacific Journal of Regional Science, Volume 4, June 2020, pp.285-314

水野谷剛(筑波大学准教授)

“An economic analysis of the proposed Dhaka-Chittagong Expressway in Bangladesh with the viewpoint of GHG emission reduction” Asia-Pacific Journal of Regional Science, Volume 4, June 2020, pp.285-314

著作賞:

福井秀夫(政策研究大学院大学 教授)

『行政訴訟による憲法的価値の確保—法治国原理・法と経済学に基づく行政法理論』(日本評論社, 2022 年)

博士論文賞:

鮎川瑞絵(名古屋市役所)

“ふるさと納税制度が地方財政に与える影響に関する理論分析”(提出先: 名古屋大学)

Pema Dorji (Department of macro-fiscal and development finance, Bhutan)

“BHUTAN’ S MACROECONOMIC

SIMULATION ANALYSIS: An application of an Overlapping Generations Model”(提出先: 名古屋大学)

奨励賞については 2 名の推薦があり, 書類が整い次第, 後日持ち回りで審議を行うこととなった。

修士論文賞については, 引き続き候補者の推薦を検討することとなった。

2. その他

なし

2. 機関紙編集委員会

第 75 回 機関誌編集委員会(持回り)

日時: 令和 5 年 2 月 27 日(土)~3 月 7 日(火)

審議事項

1. 「地域学研究」の執筆を定める要綱の規定について
2. 執筆要綱を定める規定について
3. 担当編集者の査読者の選定における倫理上のガイドラインについて

上記, 提案どおり承認された。今後理事会にかけて了承され次第, 規定の制定・施行の予定。

第 76 回 機関紙編集委員会

日時: 令和 5 年 4 月 15 日(土) 11:00-12:00

場所: Zoom によるオンライン方式

出席者(敬称略): 浅見, 多和田, 石橋, 岩見, 池川,

鐘ヶ江，木南(章)，木南(莉)，櫻井，篠崎，渋澤，鈴木，高橋，徳永，野崎(謙)，氷鮑，廣野，福井，松本，水野谷，三友，柳原の各委員(ただし，梶井，崔，三井，吉田の各委員より委任状付託；以上委員 20 名出席)，オブザーバーとして，内田事務局次長，小川，野崎(乃)，古澤，黛の各幹事，内村秘書

審議事項

1. 『地域学研究』第 53 巻掲載候補論文の選考
2. 同上機関誌編集方針

審議事項 1 及び 2 に関し，浅見委員長より編集状況及び掲載論文についての説明があり，これを了承。

木南(莉)委員より，若手研究者を育成する観点での論文査読についての提案がなされ，これを了承。今後，年次大会の Early Bird Session での発表を元にした論文かどうか等のチェック項目を EM システムに付加することとなった。

査読結果が出された後の修正期間についてより明確にした方が良いという意見が出され，今後検討することとなった。

3. 『地域学研究』セット販売価格について

水野谷委員より地域学研究のセット販売についての説明があり，これを了承。

報告

1. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

氷鮑委員より，各号の編集および発刊状況，採択率，IF 取得の見込みについて説明があった。

第 77 回 機関紙編集委員会

日時：令和 5 年 7 月 8 日(土) 11:00-12:00

場所：学術総合センター会議室 202・203 号室

及び オンライン(Zoom)

出席者(敬称略)：浅見，木南(章)，渋澤，松本，氷鮑，石橋，木南(莉)，篠崎，徳永，野崎(謙)，水野谷，柳原(以上，現地出席)，鐘ヶ江，櫻井，鈴木，廣野

(以上，オンライン出席)の各委員，(ただし，梶井，福井，多和田，吉田の各委員より委任状付託；以上委員 20 名出席)；オブザーバーとして，藤岡名誉理事，朝日理事(以上，現地出席)，内田理事・事務局次長(オンライン出席)，小川，野崎(乃)，古澤，池川，岩見(以上，現地出席)，崔，黛の各幹事(以上，現地出席)，内村秘書

審議事項

1. 『地域学研究』第 53 巻掲載候補論文の選考

浅見委員長より，現時点での『地域学研究』第 53 巻掲載決定論文について説明がなされ，これを了承。

2. 同上機関誌印刷方針

浅見委員長より，掲載決定各論文のタイトルについての説明があり，最終確認がなされた。また，長期間に渡って修正投稿がなされていない論文の取り扱いについて説明があり，これを了承。

3. 投稿規程の規程改訂

内田事務局次長より，掲載論文等の執筆要綱を定める規程，掲載論文等の執筆要綱を定める規程の修正・変更についての説明がなされ，これらについて了承された。また，年次大会 Early Bird Session で発表された論文の審査について説明がなされ，これを了承。異議申立てについての規程の追加・変更に関し，他学会の関連雑誌の動向も踏まえた説明がなされた。当学会においても編集委員会が個別に対応することが提案され，これを了承。

4. その他

なし

報告事項

1. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

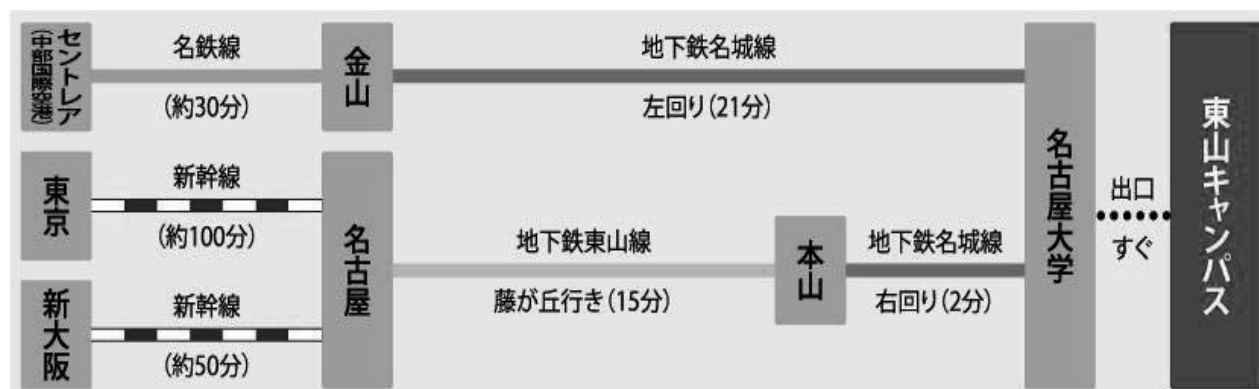
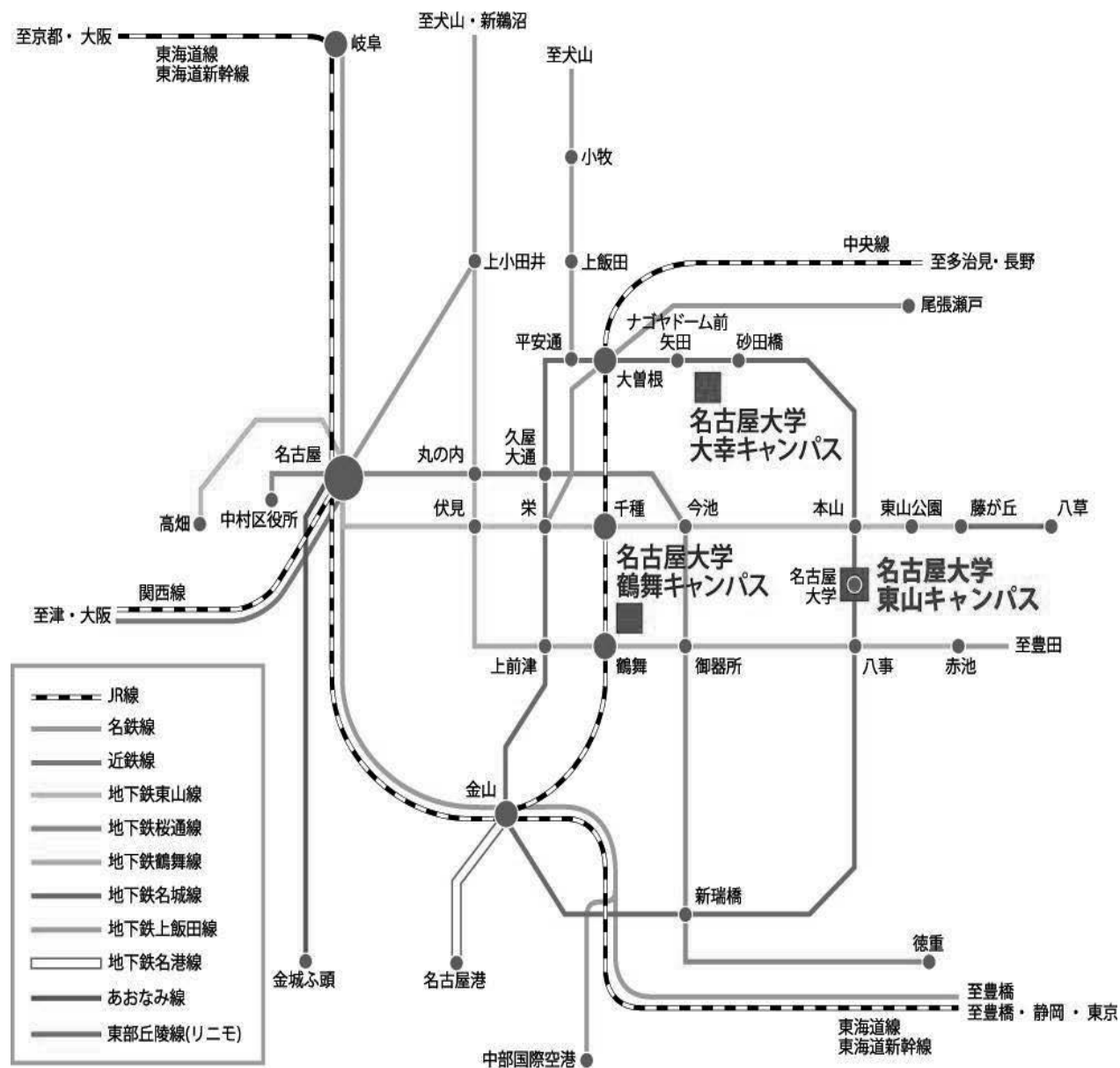
氷鮑企画担当理事兼 APJRS Editor in Chief より，APJRS 各号の編集および発刊状況，採択率等について説明があった。また併せて，IF(IF 1.4)を初めて取得した旨の報告があった。

第 60 回年次大会準備委員会からのお知らせ

会場案内

名古屋大学東山キャンパス(教養教育院) □

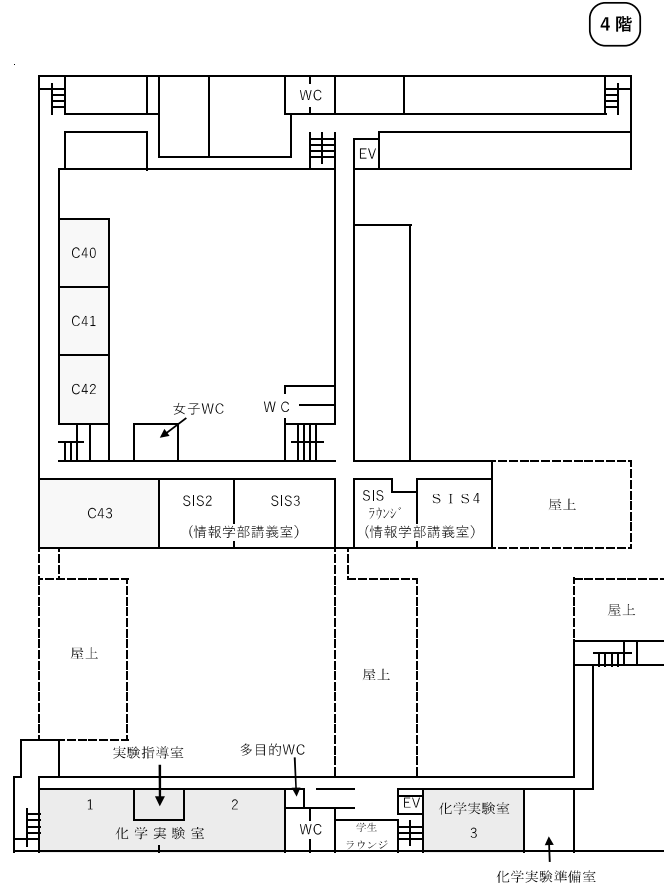
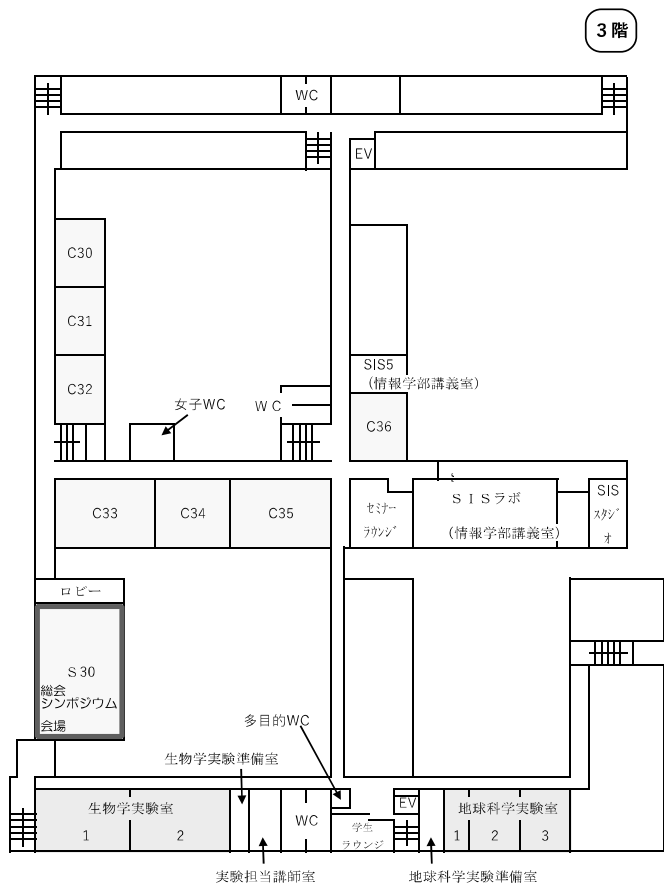
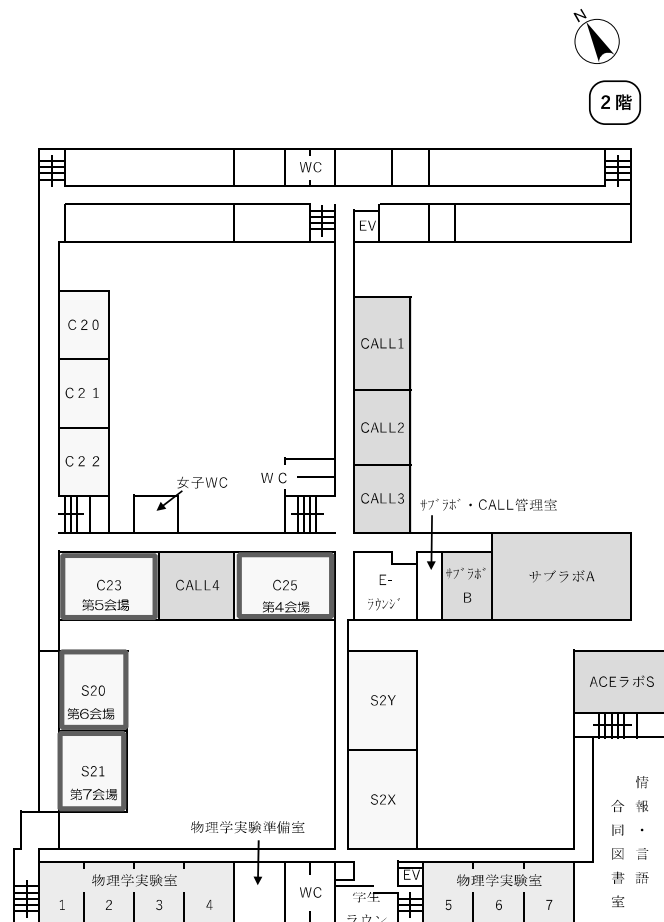
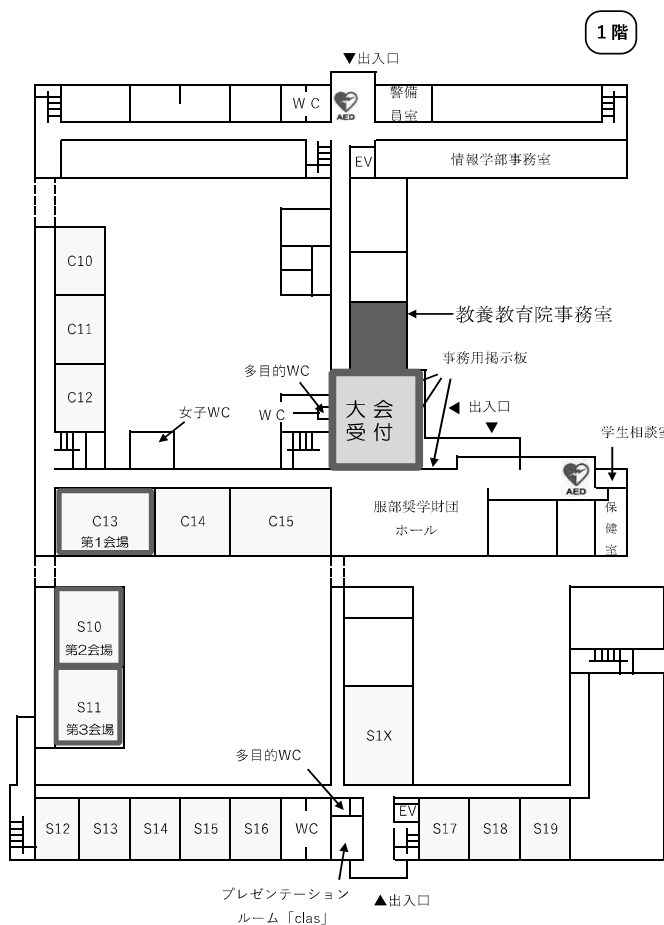
〒464-8601 名古屋市千種区不老町



会場配置図

全学教育棟講義室配置図

■ 全学教育棟本館



『地域学研究』バックナンバー/ 定期講読申込書

宛先: 〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学生命環境系水野谷研究室 Tel, Fax: +81-29-853-7221
日本地域学会事務局 御中☐ 日本地域学会機関誌の定期講読を申込ます (8,000 円 / 年)。(PRINT ISSN: 0287-6256)☐ 下記のとおり, 日本地域学会機関誌のバックナンバーを申し込みます。

令和 年 月 日

氏名:

印

所属:

住所:

Tel, Fax:

E-mail:

記念事業セット販売					
フルセット:『地域学会年報(1-6号)』+『地域学研究(第1-52巻)』				608,000円	
セミセット:『地域学研究(第1-52巻)』				578,000円	
				小計	円
『地域学会年報』(第1-6号)					
1号 10,300円		2号 10,300円		3号 10,300円	
4号 10,300円		5号 10,300円		6号 10,300円	
『地域学研究』(第1-19巻)					
第1巻 8,000円		第2巻 8,000円		第3巻 8,000円	
第4巻 8,000円		第5巻 8,000円		第6巻 8,000円	
第7巻 8,000円		第8巻 8,000円		第9巻 8,000円	
第10巻 8,000円		第11巻 10,000円		第12巻 10,000円	
第13巻 8,000円		第14巻 8,000円		第15巻 10,000円	
第16巻 8,000円		第17巻 10,000円		第18巻 10,000円	
第19巻 9,400円					
『地域学研究』(第20-28巻) no.1, no.2					
第20巻 no.1 9,000円		第20巻 no.2 3,500円		第21巻 no.1 10,000円	
第21巻 no.2 3,500円		第22巻 no.1 10,000円		第22巻 no.2 3,500円	
第23巻 no.1 10,000円		第23巻 no.2 3,500円		第24巻 no.1 10,000円	
第24巻 no.2 3,500円		第25巻 no.1 10,000円		第25巻 no.2 3,500円	
第26巻 no.1 10,000円		第26巻 no.2 3,500円		第27巻 no.1 10,000円	
第27巻 no.2 3,500円		第28巻 no.1 10,000円		第28巻 no.2 3,500円	
『地域学研究』(第29巻-34巻) no.1, no.2, no.3					
第29巻 no.1 7,000円		第29巻 no.2 3,500円		第29巻 no.3 7,000円	
第30巻 no.1 7,000円		第30巻 no.2 3,500円		第30巻 no.3 7,000円	
第31巻 no.1 7,000円		第31巻 no.2 3,500円		第31巻 no.3 7,000円	
第32巻 no.1 7,000円		第32巻 no.2 3,500円		第32巻 no.3 7,000円	
第33巻 no.1 7,000円		第33巻 no.2 3,500円		第33巻 no.3 7,000円	
第34巻 no.1 7,000円		第34巻 no.2 3,500円		第34巻 no.3 7,000円	
『地域学研究』(第35巻-) 1巻4号一括販売 16,000円; 8,000円/号					
第35巻 no.1		第35巻 no.2		第35巻 no.3	
第36巻 no.1		第36巻 no.2		第36巻 no.3	
第37巻 no.1		第37巻 no.2		第37巻 no.3	
第38巻 no.1		第38巻 no.2		第38巻 no.3	
第39巻 no.1		第39巻 no.2		第39巻 no.3	
第40巻 no.1		第40巻 no.2		第40巻 no.3	
第41巻 no.1		第41巻 no.2		第41巻 no.3	
第42巻 no.1		第42巻 no.2		第42巻 no.3	
第43巻 no.1		第43巻 no.2		第43巻 no.3	
第44巻 no.1		第44巻 no.2		第44巻 no.3	
第45巻 no.1		第45巻 no.2		第45巻 no.3	
第46巻 no.1		第46巻 no.2		第46巻 no.3	
『地域学研究』(第47巻-) 1巻2号一括販売 8,000円; 6,000円/号					
第47巻 no.1		第47巻 no.2		第48巻 no.1	
第49巻 no.1		第49巻 no.2		第50巻 no.1	
第51巻 no.1		第51巻 no.2		第52巻 no.1	
第53巻 no.1					

※第48巻以降セット販売の場合、第47巻までのセット価格+第48巻以降1巻当り30%割引価格となります

購入総額合計 円

※ 申込該当箇所に○を、□にはチェックをして下さい。

機関購入の場合は、氏名、所属欄に見積り、納品、請求書宛名機関名等を記入、責任者押印をお願い致します。

令和元年 12 月 15 日改定